

港区

【児童・生徒数】
12,935名

【学校数】
29校(小:19校、中:10校)

【港区の特色】

・オフィスビルが建ち並び、日本のビジネスの中心地であるとともに多くの人が集まる観光名所がある。



【課題・改善】

・子どもの体力・運動能力の低下が指摘される中、港区の小学校5年生男女、中学校2年生男女では、都の体力合計点の平均を上回っているが、20mシャトルラン及びボール投げが都平均と比べ低い傾向にあった。

⇒港区で実施している一校一取組運動をさらに工夫した特色ある取組（一学級一実践運動など）を今後実施する。

【実態・課題】

・「運動・スポーツをすることが好き」の割合が比較的高いが、運動・スポーツの実施状況の割合が低い。また、港区の学校施設上、十分な運動を確保できる校庭の広さを担保することが難しい。

⇒児童・生徒の運動・スポーツへの興味・関心をより一層高める。

⇒運動習慣を定着できるようにする。

目標

・ボルダリングへの取組を通して、「楽しい。」「できた。」と実感した子どもたちを増やす。

【成果】

- ① 都の体力調査における、小学校5年生の体力合計点では、都平均に比べ港区平均が1.93ポイント高く、19校中13校が都平均を上回っている。(小学校)
※体力テスト(令和5年度6月比)
- ② 都の体力調査における、中学校2年生の体力合計点では、都平均に比べ港区平均が1.21ポイント高く、10校中7校が都平均を上回っている。(中学校)
※体力テスト(令和5年度6月比)

【取組】

○授業(体育科)の取組

・日本山岳スポーツ・クライミング協会と連携し、授業を実施

○教員向け研修会の取組

・日本山岳スポーツ・クライミング協会と連携し、研修を実施



【取組(詳細)】

○区立小学校1年生を対象としたボルダリング出前授業

区立小学校1年生3クラスを対象にボルダリングの出前授業を行った。授業の導入では、ホールドのつかみ方、安全な登り方・降り方を学んだ。

その後、2チームに分かれ、ボルダリングウォールを使用した「ドンじゃんけんポン」を実施した。上下の移動だけでなく、横移動を取り入れたゲームということもあり、子どもたちからは「普段と違う動きができて楽しかった。」「友達と協力して運動することができた。」と肯定的な感想を聞くことができた。

先生たちからは「今日学んだことを校内に還元していきたい。」と校内でのボルダリングウォールの活用について意見を聞くことができた。



自由にホールドを使用し、決められた高さまで登る様子

○区立幼稚園・小学校教員を対象としたボルダリング実技研修会



安全面の配慮について話を聞いている様子

区立幼稚園・小学校教員対象(31名)の教員を対象に実技研修会を行った。基本的なホールドの使い方や次のホールドを取りに行く動作や傷害の予防、安全面の配慮についてお話をいただいた。

3つにレベル分けしたボルダリングウォールのコースを設定し、教員自身がコースを選択し、運動できるようにした。教員からは、「子どもたちに合ったコースを設定すれば、より意欲的に運動に取り組むことができると思った。」「子どもたちが夢中に運動に取り組むことができる教材なので、安全に配慮した授業実践をしていきたい。」と幼児・児童の実態に合った取組の必要性を感じる研修となった。

また、各園校で実践しているボルダリングウォールの活用事例を紹介し合うことで、各園校の取組をより充実できるようにした。実際に学校で使用しているチャレンジカードを共有することで、取組強化につながった。

ボルダリングチャレンジ!

クリアしたら マスに色丸をつけよう!

目標	コース	時間	クリア	クリア	クリア
8歳	Cコースを登りきる。	10秒	7秒	5秒	
7歳	Bコースを登りきる。	10秒	7秒	5秒	
6歳	Aコースを登りきる。	10秒	7秒	5秒	
5歳	緑を使って登りきる。	⑤	10秒	5秒	
4歳	黄色を使って登りきる。	④	10秒	5秒	
3歳	オレンジを使って登りきる。	③	10秒	5秒	
2歳	オレンジを使って登りきる。	②	10秒	5秒	
1歳	緑を使って登りきる。	①	10秒	5秒	